

SERIES 市町村体育協会だより

矢巾町体育協会

昭和30年、町村合併に伴い、徳田・煙山・不動の旧3ヶ村の体育協会の発展的統合の気運が急速に高まり、同年5月18日に体育協会が結成されました。平成18年度から指定管理者として、矢巾町民総合体育館、野外運動場照明施設の管理運営とスポーツ大会・教室等を開催し、矢巾町民の体力向上と生涯スポーツの発展のため活動しています。

事業方針として、競技スポーツの推進と生涯スポーツの振興を掲げ、「心身ともに健康な町民の育成」のため教育委員会並びに各競技団体等との相互連携をとりながら、競技力の向上に努めるとともに、健康長寿の町として、生涯を通じ健康と体力の保持増進が図られるよう次のような各種事業を展開しています。

生涯スポーツとしては小学生を対象とした水泳教室ほか11教室、毎年多数の申し込みがある町民登山、より多くの児童・生徒にスポーツを楽しんでもらうべく開催しております「やはばキッズスポーツセミナー」ではスポーツの基礎となる体づくりやさまざまなスポーツの体験などを行い、スポーツの楽しさを伝え、生涯に通じたスポーツライフ、「ひとりのスポーツ」を目指しております。

競技スポーツとしては、第31回目を迎えました行政区対抗町民スポーツ大会(37チーム・全5種目)、各競技団体によるスポーツ大会や県

民体育大会へ出場する際の支援等を行っているほか、アジアスプリント選手権で優勝を果たしたカヌー競技の水本圭治選手など、全国・世界で活躍する選手育成に支援を行っております。

また、矢巾町が目指している「日本一健康な町やはば」づくりの一環で、今年で14回目になります矢巾町ロードレース大会は、未曾有の大災害となりました東日本大震災から7カ月が過ぎ、その復興もままならない中、少しでも元気が与えられるようにと開催いたしました。宮古市、釜石市、大船渡市などの被災地からの参加もあり、総勢1015名とこれまでで最も多くの参加を頂きました。各関係団体並びに地元の行政区や企業などの協力のもと、地域に根ざしたスポーツイベントになっております。

身近な地域でスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブでは2年間の準備期間を経て、平成20年に「楽々クラブ矢巾」を設立。今年で3年目を迎え、当体育協会及び各競技団体と連携を図り、また事業が重複しないようにそれぞれの特長を生かした事業を実施しております。

今後は、各競技の競技力向上を目指すとともに、



地域の高齢者や子どもたちがスポーツを親しみ、互いに交流できる場としてのスポーツ環境をつくり、スポーツ振興のさらなる発展を目指し努力して参りたいと思います。